

議会だより



第4回

飛驒市グラウンド・ゴルフ協会 交歓大会(5/14 森林公園)

6月定例会の概要	2～3
一般質問(10人)	4～8
委員会 Q&A	9
総務常任委員会管内視察報告	10
産業常任委員会管内視察報告	11
市民との意見交換会	12

令和元年6月定例会の概要

令和元年第2回飛騨市議会定例会を6月17日から7月3日までの17日間の会期で開催し、補正予算や条例改正、財産取得、農業委員会委員の任命同意など、34議案を可決・承認しました。そのほかに意見書1件を採択しました。

また、一般質問には10人が登壇し市政を質しました。

◆補正予算2件

○令和元年度飛騨市一般会計補正予算

1億6,494万4千円増額

○国民健康保険特別会計補正予算

456万4千円増額

◆条例制定及び改正 4件

○飛騨市ライフライン保全対策事業分担金徴収条例

整備事業により利益を受ける電力会社から徴収する分担金について、その額等を定める。

○飛騨市火災予防条例の一部を改正する条例

不正競争防止法等の一部を改正する法律、住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部を改正する省令の公布に伴う改正。

○飛騨市国民健康保険病院事業の設置等に関する条例及び飛騨市国民健康保険病院事業及び飛騨市国民健康保険直営診療所の使用料並びに手数料条例の一部を改正

する条例

老人保健施設たかはらを指定管理者による管理を可能とするため、関係条例を改正。

○飛騨市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

技術士法施行規則の改正に伴う改正。

◆訴えの提起 1件

消防・救急デジタル無線及び消防指令システム整備工事において、飛騨市工事請負契約約款の談合その他不正行為があった場合の違約金等の条項に基づき損害賠償請求を行ったが、履行されないため提訴する。



消防・救急デジタル無線指令システム操作卓

◆報告案件 3件

●平成30年度飛騨市一般会計繰越明許費繰越計算書

庁舎非常用電源設備事業など32事業に係る繰越明許費繰越計算書の報告。

●平成30年度飛騨市水道事業会計繰越計算書

東雲導水管布設替事業をはじめ3件の繰越計算書の報告。

●飛騨市土地開発公社経営状況等の報告

地方自治法の規定により、土地開発公社平成30年度事業報告・決算と令和元年度事業計画・予算の報告。

◆専決処分の承認 2件

●平成30年度飛騨市一般会計補正予算専決処分の承認

繰越明許費やがんばれふるさと応援寄付金など補正予算（専決第3号）の承認。

●条例改正の承認

地方税法の一部を改正する法律が平成31年3月29日に公布され、うち平成31年4月1日及び6月1日施行に係る改正条例を専決処分

したもの承認

◆財産の取得 2件

●高規格救急自動車
●ロータリ除雪車

予定価格2千万円以上の動産の買入れ案件。救急車は神岡消防署に配備。ロータリ除雪車は令和2年3月納期予定で神岡町に配置。



購入予定と同規格の救急車

◆農業委員会委員の過半数要件の例外の同意 1件

飛騨市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意で、委員の少なくとも4分の1を認定農業者等としたいための同意。

◆農業委員会委員の任命同意 19件

6月30日任期満了に伴う飛

令和元年6月定例会の概要

「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」を採択。

◆意見書採択 1件

名。

が7名とそれに準ずる者が2
19名のうち、認定農業者等

荒木 誠（宮川町）
岩佐 和廣（宮川町）
洞 英夫（神岡町）
若田 貴久男（古川町）
米澤 英雄（神岡町）
田中 純子（神岡町）
大家 耕司（神岡町）
上川 渡雄（神岡町）
下 方 好博（神岡町）
大 下 哲矢（河合町）
千 嶋 博（古川町）
重 田 和照（古川町）
山 口 茂明（河合町）
山 口 政一（古川町）
井之口 忠彦（古川町）
蒲 生 洋子（古川町）
氷 見 明美（古川町）
吉 野 外則（古川町）
古 田 善昭（古川町）

驒市農業委員会委員の任命同意。任期は3年間。

◆上程議案と審査結果

議案番号	事 件 名	
報告 2	平成30年度飛驒市一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告 (3件)
報告 3	平成30年度飛驒市水道事業会計予算繰越計算書について	
報告 4	飛驒市土地開発公社経営状況等の報告について	
承認 2	専決処分の承認を求めることについて (平成30年度飛驒市一般会計補正予算（専決第3号）)	開会日 承認 可決 (24件) 全会一致
承認 3	専決処分の承認を求めることについて（飛驒市税条例等の一部を改正する条例）	
議案52	財産の取得について（高規格救急自動車）	
議案53	飛驒市農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	
議案54 ～72	飛驒市農業委員会委員の任命同意について	
議案80	財産の取得について（ロータリ除雪車）	閉会日 可決 (7件) 全会一致
議案73	飛驒市ライフライン保全対策事業分担金徴収条例について	
議案74	飛驒市火災予防条例の一部を改正する条例について	
議案75	訴えの提起について	
議案76	飛驒市国民健康保険病院事業の設置等に関する条例及び飛驒市国民健康保険病院事業及び飛驒市国民健康保険直営診療所の使用料並びに手数料条例の一部を改正する条例について	
議案77	飛驒市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について	
議案78	令和元年度飛驒市一般会計補正予算（補正第1号）	
議案79	令和元年度飛驒市国民健康保険特別会計補正予算（補正第1号）	

議会の傍聴にお越しく下さい

9月定例会の予定

9月 2日(月) 本会議 開会日（提案説明） 17日(火) 予算特別委員会
 10日(火) 一般質問（1日目） 18日(水) 決算特別委員会（1日目）
 11日(水) 一般質問（2日目） 19日(木) 決算特別委員会（2日目）
 12日(木) 一般質問（3日目） 20日(金) 決算特別委員会（3日目）
 13日(金) 常任委員会（総務・産業） 25日(水) 本会議 閉会日
 （付託案件委員長報告、採決）
 ※日程は変更される場合があります

問 防災の在り方について

答 「警戒レベル」の運用は6月3日から運用開始、警戒レベルと求める行動を端的に伝える



徳島 純次 議員

問 ①「警戒レベル」と避難指示・勧告や防災気象情報との関係「警戒レベル」の意味合いの周知と運用は、どのように行うか。

避難指示・勧告や防災気象情報との関係「警戒レベル」の意味合いの周知と運用は、どのように行うか。

②学校の防災教育と避難訓練を行っているか。

③全ての地域が防災計画を作成しているか。

問 市職員獣医師の募集と待遇改善について

答 獣医師数は早期の情報発信と適時の採用で絶対確保が必要。処遇策は検討・研究を始めた

問 ①市職員獣医師が3年後に定年退職される。退職時に獣医師が2名にならない対応は。

②公務員獣医師の確保が困難な最大の理由は、高等専門職としての処遇でないこと。一般行政職給料表が適用され、月に獣医師手当5万円である。中山間地域での獣医師の採用

送は警戒レベルと求める行動を端的に伝える。
③飛騨市行政区等設置条例に定められた区・自治会は100%作成済み。
④「市政見える化講座」、「見守りネットワーク研修会」において、ハザードマップの見方や地域特性の説明をしていく。

◆坂田危機管理監
答 ①市のホームページ、SNS、広報ひだに記事を掲載。実施は6月3日から運用開始、タイムライン及び避難勧告等の判断・伝達マニュアルの修正も完了、今後の防災放

◆沖畑教育長
答 ②各学校の立地環境やこれまでの災害を考慮し、「自分の命は自分で守る」ことが目標の「命を守る訓練」や防災教育を実施している。

の困難さを鑑み、獣医師の処遇面の検討の実施、手当に含まれる業務範囲はどこまでか。

◆泉原総務部長
答 ①獣医師3名は必要かつ適正な数である。飛騨牛という地域資源の育成・維持のため、畜産業振興のためにも現在の人数が必要。再任用制度の活

用や早期の情報発信と適時の採用により獣医師の確保に努める。

②獣医師の待遇は極めて重要である。今年度に入ってから、獣医師の優遇策について検討・研究を始めた。給与制度と別に、奨学金返済の補助制度等の適否を含めた多面的な検討を行っていく。

用や早期の情報発信と適時の採用により獣医師の確保に努める。



問 ひだ宇宙科学館カミオカラボと宙ドームの運営について

答 宙ドーム2階をテーブル方式での改装を検討する



葛谷 寛徳 議員

問 企業版ふるさと納税の活用などにより、多くの理解ある企業から多額のご寄附をいただきカミオカラボがオープンした。入場者は2ヶ月半で4万人を超している中で、中

◆森神岡振興事務所長
答 ①次回の指定管理者公募においては、協同組合が自らの考えのもと、株式会社という形態での応募もありうる。②団体利用の食事場所を提供するには、土足で利用できるテーブル方式が柔軟に対応できるため、2階の改装を検討していく。③平成30年度末に商標登録が完了しており、今年度に商品にロゴマークを用いるなどの市内業者による使用を可能にしていきたい。

問 ハイパーカミオカンデ計画の概要と受け入れは

答 HK計画推進期成同盟会を発足し、支援体制を議論する

問 小柴昌俊先生と梶田隆章先生の二人がノーベル賞を受賞された研究施設スーパーカミオカンデ。関係者の熱意と努力により画期的なハイパーカミオカンデ計画が実行されようとしている。計画の概要と受け入れ体制は。

◆都竹市長
答 現時点では、直径74m、高さ60mの円筒型の

水槽一基。約4万本の光電子増倍管を設置。SKの5倍の規模で光電子増倍管の感度も2倍となり、SKの百年分のデータがハイパーカミオカンデでは、約10年で得られ大幅に能力アップされる。約670億円の建設費で運営費も含めると約1千500億円規模。場所は神岡町市街地に近い二十五山で進め



カミオカラボのオープンに梶田先生出席

られていく。多くの工事関係者宿舍の設置、食事の提供等受け入れ体制が重要となる。7月をめどにハイパーカミオカンデ計画推進期成同盟会を立ち上げ、具体的な受け入れ、支援について議論していく。

一般質問

問 教員の働き方改革の推進（校務支援システムの導入）について、目指すものは何か

答 子供達の成長のため、地域・学校・家庭等が強みを活かし、教育やまちづくりを目指す



中村 健吉 議員

問 ①教員の過重労働の内容をどう捉えているか。

②校務支援システムの導入効果についての考えは。③雑務処理時間の軽減が、本当の意味での教員の働き方改革になるのか。④飛騨市の教員の働き方改革の目的は何か。

◆ 沖畑教育長

問 「飛騨市学園構想」について、飛騨市の目指すものは何か

答 各校・特支校の発達段階・教育課程を考慮し、課題解決能力を育み「生きる力」をより育てる

問 ①義務教育課程と高等学校教育課程の違いの認識はあるのか。②学園構想における高校の存在認識について問う。③飛騨市の中学卒業生全体に対しての支援をどう考えるか。

◆ 沖畑教育長

答 ①学園構想は、高校

は多くの教師が切望している。負担の大きな日常業務の効率化を図ること

で、教員が実践したい教育活動時間を生み出すこと

とつながり、それが改革の目的と考えている。

④将来を担う子どもたちの教育は、地域・学校・家庭・諸機関等が当事者として協働的に関わる意識を持ち、「無理なく」「緩やかに」「改善を加えながら」「進めなければならぬ」。それが、教員の働き方改革であり、「これらの教育やまちづくりの目指す姿」実現への挑戦と考えている。

ることを大切に段階を踏んで進めている。③全ての市内中学校卒業生に支援することは難しいが、各部署において様々な支援策を講じている。さらに、市外、県外、あるいは就職して夢に向かって取り組む若者に対して、学園構想の取り組みの成果を見届けるとともに支援のあり方を検討していきたい。

問 高齢者ドライバーの免許返納への考えは

答 強制するべきものではないが、3年間にいきいき券を交付



高原 邦子 議員

問 高齢者ドライバーの名義・登記等の変更が行われていない不動産を把握しているのか

答 特化した調査は行っていないが、確認できる数字もある

問 所有者不明や相続登記等がされていない不動産は市内にどれくらい存在しているのか。市長は終活を支援する施策を標榜しているが相続財産の適正な事務処理等の啓発活動等はどのように考えているのか。

◆ 泉原総務部長

◆ 柚原市民福祉部長

答 固定資産税の課税において相続登記がされていない、代表相続人として台帳登録されている人は6人分、土地が8760筆、建物は133棟ある。相続登記は義

問 飛騨市内の家庭での虐待事案について

答 昨年度は高校生3件、小学生1件、保育園4件、未満児1件発生

問 子相（子ども相談センター）・警察と市の担当部署の関係は密にとれているのか。虐待を知ったときの対処はどのような

◆ 柚原市民福祉部長

答 毎月の会議に子相の職員も出席。研修会を共同で開催。飛騨警察署の

は難しく、本年度からは70歳以上の返却者にいきいき券を年1冊を3カ年交付する。また、自動車事故を減らす観点から、例えば、誤操作を防止する装置の取り付けに対する助成ができないかなど、来年度に向けて検討したい。

務化されておらず、罰則規定もないが、法務省は2020年に相続登記を義務化するため民法改正等を行う旨を発表している。10月開設予定の終活支援センターの業務の中で相続手続について啓発し、生前準備に関する相談、死後の対応に関する相談を受けて関係機関に繋ぐ役割を果たしていく。

生活安全課とも速やかに連携できる体制をとっている。虐待を把握すると、直ちに管理職に報告し、子ども第一で取り組んでいる。



問 各地区公民館等の和式トイレ（大）改修時の補助を

答 トイレ改修に補助が行えるよう検討をする



森 要 議員

問 ①各地区の公民館は、コミュニティ活動の拠点として、災害時の避難所としても指定されるなど重要な施設。公民館の和式トイレの改修に際し地元負担は当然であるが、採択基準の見直し、補助限度額の見直しを含めて整備することができない

答 ①谷尻教育委員会事務局長

①地域の公民館や集会所が、地域の皆さんの抛り所であり、緊急時の避難所に誰もが集える施設として役割を果たしていること、市全体の方針

問 教員の働き方改革の推進として、校務支援システムの導入の目的と背景は

答 県は統合型校務支援システムの構築を行い、市は同システムを導入する

問 ①教員の働き方改革の推進として、校務支援システムの導入が予算化されている。この事業の背景と目的は。②事業の概要と運用コストの削減はあるのか。

答 ◆ 沖畑教育長
①文部科学省は、令

和2年度までに統合型校務支援システムを整備することを目標に掲げ、県ではこれを受けシステム構築を進め、県内の市町村にこのシステムを導入するよう推奨。今回、飛騨市においても導入する。②市が単独でシ

として公衆トイレの洋式化に取り組んでいることも踏まえ、各地区公民館等における和式トイレ改修に対する支援は重要と考えている。教育委員会所管の「飛騨市集落有集会施設整備補助金制度」を見直し、各地区公民館等のトイレ改修に対する補助が行えるよう、対象工事の範囲や基準、補助金の金額を含め、検討を進めたい。

②森林公園キャンプ場を含め、飛騨市内のスポーツ関連施設についても利用頻度や改修費等を調査検討しながら、計画的に洋式化を進める。



システムを構築する場合、2千万円以上の経費が必要。県のシステムでは使用料のみの負担となり、1校当り年額21万円の経費ですむ。すべての小・中学校と教育委員会で使用する予定である。

問 新公共交通網形成計画について

答 路線の充実を図り、利用者が喜ぶ運行をめざす



洞口 和彦 議員

問 この4年間、福祉バスの廃止や神原線の廃止等により、路線によつては、利便性に欠けるため利用者が減り、無人のバスが増える等悪循環の連鎖が目立った。免許返納者の増えるなか、新公共交通網の視点と展望を伺う。

答 ①泉原総務部長
価検証は。②新公共交通網の目的と課題は（目的の課題解決、一定の収支勘定と予算経費、利便性の確保）③過疎地の通院、買物支援はデマンドで。

①平成30年度公共交通モニタリング調査及び評価。

②老人保健施設たかはらの運営について（来年4月実施をできるだけ早期に）

答 介護職員をつなぎ止めるため10月に指定管理に移行・介護医療院は来年4月の移行

問 社会福祉法人神東会に指定管理移行、運営形態変更は出来るだけ早期を希望。今回の形態変更による福祉政策の将来の影響を伺う。

①指定管理の効果は。②

答 ◆ 佐藤病院管理室長
◆ 柚原市民福祉部長
①介護職員の職員化

下回り、うち6路線目標半分以下。3点目は市民アンケート実施。対応すべき移動に、買い物通院に63・1％。評価検証の結果、目標を下回る路線や便の見直し。高校通学の低サービスの解消、高齢者の通院・買物の移動手段の対応が課題。

②現行の網形成計画を基本に25年度決算額内で運行。1便当たり一人未満の減便や統合による削減費で利用者喜んでもらえるような利便性あるものにする。

③河合・宮川地区の乗り合いタクシーは各地区に配備。神原線は1便当たり一人の基準として運行の見直しを検討。

実現。新卒者の就職先として選択。②特定処遇改善加算導入の10月から実施。介護医療院は来年度から実施。③個々に雇用条件等の説明をする。④現状の特別養護老人ホーム棟のベット数維持。人材の確保を支援する。

一般質問

問 地方創生第2期の方針と売却も含めた指
定管理施設のあり方について

答 地方創生第2期は人材の確保と育成に注力。
複数の施設で売却を前提に視察等取り組み中



野村 勝憲 議員

問 6月意見交換会で

「飛騨市の20年後は町か
村に」議員も先人の景
観・町づくりを学び、人
を呼び込む活動を「毎年
指定管理団体に羨ましい
額の税金が投与」「味処古

問 小・中学生の登下校道路は安全か。古川
町は重1の砂場と味処古川の周辺は危険

答 各学校で4月と9月に安全指導や協議を実
施。危険と指摘された2ヶ所は対応する

問 大津市の園児死傷事

故後、私は古川町内の
小・中学生登下校の道路
や交差点を5日間調査し
たが2ヶ所危険。高齢者
のブレイキとアクセル踏
み間違い事故が市内で発
生。今後75歳以上の人に
ブレイキ補助装置購入助
成等が必要①1・2区小
学生51人が登下校する古
川町は重の砂場壁等危

川の森議員は都竹市長後
援会副会長。市民からは
市と議員のズブズブの関
係に映る「行政チエック
できない議員はいらな
い」等市民の声を参考に
質問。①地方創生第2期
の方針は②飛騨市創生第
1期策定に70万のコンサ
ル料。第2期は③指定管
理施設は4町から各1施
設を選び民間売却したら

④味処古川の庇増築は違
反建築。施工業者は。

◆都竹市長

◆御手洗理事兼企画部長

答 ①人材確保・育成と
弱い立場の人へ支援②コ
ンサル委託しない③地域
から1つでなく個別交渉
④シルバー人材センター
が平成26年5月頃施工。



違反建築だった味処古川の庇

味処古川自転車置場の車
は常に逆方向駐車。出る
時、子供や観光客等通行
人に危険。指導したか。

◆湯之下副市長

◆谷尻教育委員会事務局長

答 ①確認していない②
正式に確認していない③
承っておく④聞いていな
い⑤確認して対応。



のぼり旗は無許可で通行障害だった

問 介護医療院（老健たかはら）について

答 処遇改善加算で4・1%の個人負担増になる



前川 文博 議員

問 ①社会福祉法人神東

会が指定管理者となる。
加算措置を利用するため
同法人内で入居者の施設
間移動などが発生するの
か？②老健たかはらの標

準的な利用料は？③現状
と同じ介護水準で計算し
た場合10月以降の利用料
金は？④介護士の処遇改
善加算によって入所者の
負担金増になるのか？⑤
介護職員の確保に今後ど
う取り組むのか？

◆佐藤病院管理室長

◆柚原市民福祉部長

答 ①介護医療院に転換

問 公共交通（古川く神岡の深夜運行）について

答 神岡く古川間で夜間の移動について検討する

問 ①4月以降の公共交
通、全体的な路線や高齢
者への対応は？②神岡く

古川間・猪谷間の深夜早
朝便はバスの増便だけで
考えるのではなく、タク
シーを利用した予約型運
行は？③山と村線の利便
性向上でタクシーを活用
したデマンド運行は？④
いろいろな方法を検討し
現状に合わせた最良の方
法を採用しコスト縮減を

行い利用料金は現状を維
持する必要がある。

◆泉原総務部長

答 ①免許返納者のニー
ズを聞き施策全体の中で
移動支援策の充実を図
る。②神岡古川間の夜間
の移動について地域活性
化を目的とした路線の新
設を検討。③タクシー利
用による予約型乗合運行
も含めより地域に適した
公共交通を検討。④河合

すると在宅扱いとなり
頻繁な施設間の移動は
想定されない。②月額
9万3千円〜10万円。う
ち食費の割合は50%を超
える。③介護保険は全国
的な一律のもとで運営。
指定管理により運営主体
が変わっても入所者の一
部負担額が変わることは
ない。④介護職員の処遇
改善加算により4・1%
の負担増となる。⑤国の
制度緩和で確保しやすくな
ってきた外国人人材の
雇用は特に重要。効果的
な施策になる。

宮川間の移動は200円に
する。差額負担の路線
で市が3150万円の
負担。その内、古川神岡
線で2970万円。最大
で料金の8割を市が負担。
公共交通アドバイザーの
名古屋大学大学院教授か
ら指摘もされ、全体的な
運賃バランスから料金改
定（値上げ）にご理解い
ただきたい。

問 ひきこもりについて

答 情報を把握し、民生児童委員、支援団体など地域全体で支える仕組み作りが必要



井端 浩二 議員

問 ①学校を休みがちな生徒の中学校卒業後の情報などはどう把握しているのか。②飛騨市にお住まいの社会参加が苦手な方の把握はできているのか。③社会参加が苦手な方やその親御さんが相談したい窓口や支援先はあるのか。④80・50問題のような家庭は今後どう支援していくのか。

◆ 柚原市民福祉部長
答 ①平成27年度の市内中学校卒業生以降、教育委員会や各中学校の協力

問 スクールバスの安全性について

答 防犯備品の設置や運転手の防犯講習など関係者と協議を重ねたい

◆ 谷尻教育委員会事務局長
答 保護者や地域の方々と共に子供たちの安全を

の下、発達支援センターにおいて把握している。高校を中退された方、福祉作業所や就職された方等についても把握できる限り情報収集を行っている。②飛騨市にお住まいの社会参加が苦手な方等の把握は充分できているとは言えない。岐阜県側から「岐阜県ひきこもり等に関する状況調査」を行う旨の通知があり、市では岐阜県に対して飛騨市に関する情報の提供を求めており、その情報を元に把握する予定。③相談窓口は障がい福祉課発達支援センター及び地域包括ケア課社会福祉係となる。昨年6月に、学校

や仕事に行けない人、悩みを抱えている人などの居場所として「ふりーすぺーす」を開設。3月まで18回開催し、延べ92名の参加があった。スタッフからは帰る姿が来た時とは一変し、すっきりとした様子との報告があった。神岡でも「ふれあいサロンいちご」や「なまましてらこや」など支援団体や保護者らで開催されている。④80・50問題のような家庭への支援は大変難しいが、親本人に支援が必要になったときは、子との関係を作るなど色んな場面を利用して関わるきっかけを作ることが重要。地域全体で支える仕組みを作る必要がある。

などの防犯備品の設置及び、運転手の防犯講習については、飛騨警察署や関係者との協議を重ね、その有効性も見極めながら整備したい。

問 農地を守るための取組みについて

答 兼業農家の後継者支援については現場の声を聞き検討する



住田 清美 議員

問 平成28年に行った農地利用アンケート調査では10年後耕作できない農地は3割以上となる。農地の集約化や後継者育成など農業施策について問う。①地域農業の課題②農業後継者不足③農地集

問 リサイクルの推進について
答 衣類回収は地区ごとの回収所を設置し推進する

◆ 大坪環境水道部長
答 24時間資源回収ボックス設置により衣類リサイクルが進んでいるが、どのようにリサイクルされるか、また、作業の一部は市内の雇用対策として活用できないのか。

約④改良組合の役割⑤おいしい米のブランド化
◆ 青垣農林部長
答 ①農業委員、農地利用最適化推進委員と協力し、4町の実情に応じた対策を行っている。②農家人口の9割を占める兼業農家に対しては、世代交代のタイミングやニーズが把握できていない。親から子へのつなぎ資金など、今後現場の声を聞

答 ①収集された衣類は中間業者を経てリサイクル業者へ引き渡され、市としては、1kgあたり1円の収入となる。リサイクルの過程では海外工場での工程もあり、市内での作業は難しい。しかし、リサイクル業者への視察を行うなど、環境と福祉が連携した雇用の促

き支援策を考える。③持続可能な農地にするため、圃場の狭さが効率化を阻んでいる地域において、合意が得られたところから圃場整備を進め、農地の集積及び集約化を図っていく。④各改良組合で規約の有無や加入要件など様々であるが、農業版の区長として、地域農業の重要な役割であると認識し、組織の定義付けに着手している。⑤商品開発造成事業、地域米ブランド支援事業を進めていきたい。



若宮駐車場に設置されている24時間資源回収ボックス

進を進めたい。②食品ロス削減推進計画を策定するとともに、市・事業者・消費者が連携した取組みを行う。③マイバック利用促進PRなど、効果的に取組みたい。

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します。

予算特別委員会

☆6月補正予算審議

総務部

Q 人件費5名減の理由は。

A 自己都合退職1名、死亡1名、内定辞退3名である。

Q 業務に支障はないか。

A 特にない。

Q 富山大と連携した断層調査について今回の4つの他に断層はあるか。

A 跡津川断層がある。

Q 断層調査の日程は。

A 今年度は現地調査を行い、次年度、ボーリングや掘削調査、残りの断層調査を行う。

企画部

Q サポーター視察研修にシルバーの参加はないのか。

A 基本的には中高生の若い方を対象とする。

Q サポーター研修は毎年行うのか。

A 今後検討する。

Q 移住者サポート事業で交通費助成があるがどのような

場合対象になるのか。

A 住むとコネクトや、移住コンシェルジュを利用した場合を考えている。

市民福祉部

Q 障がい者施設送迎車負担金の割合は。

A 指定管理施設なので本来は市が全額負担であるが、事業者であるNPOが郵政年賀ハガキの補助金を使うので、市は補助金を負担する。

Q 購入した車両の所有者はどこか。

A NPOが郵政補助金の事業主体であるのでNPOのものになる。

Q 車両更新についてはNPOと協議したか。

A 昨年からの更新の相談を受けていた。

Q 保育料無償化が10月から始まるが、システム改修等間に合うのか。

A 施行できるようにする。

Q 法令の改正等により市民福祉部のシステム改修は年間のくらいか。

A 1千万円近くになる。

教育委員会

Q 校務支援システムは県のシステムを利用するがどれほど安くなるのか。

A 初期費用2千万円安くなる。

Q システム導入により具体的にどう効率化されるのか。

A 教員1人につき月17時間効率化されると聞く。

Q 寄付金500万円の用途は。

A 寄付者からICT教育への希望があったので財源充当した。

農林部

Q しいたけ生産組合の組合員は何人か。

A 28人です。

総務常任委員会

Q 住宅用防災警報器等の設置が免除できる「特定小規模施設用自動火災報知設備」とは何か。

A 個々の警報器が連動して発報する機械で住宅用の防災警報器より性能が良い設備。

Q 訴えの訴訟で、談合の判断に至った経緯は。

A 国の案件などを調査した結果、市の契約も談合が行わ

れていたと確信したため。市として談合は絶対許さないと姿勢のもと、結論が見えるまで訴訟を遂行したい。

産業常任委員会

Q 水道技術管理者の資格を持つっている方は何人か。

A 市役所には一人いる。

Q 経験年数が6カ月から1年になることで、市や業者に影響があるか。どうして1年になったのか。

A 布設工事監督者に該当する方は市内にはほとんどいないため影響は少ない。簡易水道の基準から上水道の基準としていくため1年とした。

全国市議会議長会 高原議員を表彰

6月11日に東京国際フォーラムで開催された全国市議会議長会第95回定期総会において、高原邦子議員が長年の議員活動(15年)が認められ表彰されました。



お知らせ

飛騨市ケーブルテレビでは、飛騨市議会本会議の様子を生中継します。

詳しくは、議会事務局までお問合せ下さい。

電話 73-7467

総務常任委員会 管内視察報告

総務常任委員会で5月17日に実施した管内視察について委員の感想を交え報告します。

①新和光園建設現場

2階部分のコンクリート造を施工中で、本年12月の完成に向け39%の進捗状況。当初は基礎部分の杭打ちや、部品不足などで遅れがあったが、現在は予定通り施工中であった。

②河合町空き家

河合町小無雁の朽ちかけの空き家を車中から視察し、職員から現状を聞いた。今後、6月14日に対策協議会を開くこと。市内区長を対象にした空き家に関する勉強会を開催予定などの計画を聞き、今後予想される、空き家増加についての対策が急務であることを感じた。

③角川橋危機管理型水位計

河合町角川橋に取り付けられた水位計を確認し、説明を受けた。市内河川の増水時にソーラー発電を利用した長期間メンテナンスフリーな水位計で、増水量4割高で避難準備・高齢者等避難開始。6割高で避難勧告として情報発信できる。危機対策として重要な装備だが、情報をいかに生かすか市民への周知が何より大切と感じた。

④古川消防署北分署

宮川町西忍の北分署を視察。昨年度に全署に各一台配備された自動心臓マッサージ器の使用や、救命士の活動を取り入れた本番さながらの救急活動訓練を参観した。署員12名の少ない人員で3交代制。火災、救急等に対応し市民の安心安全を守る姿勢に感動した。



北分署員による自動心臓マッサージ器使用訓練

⑤飛騨みやがわ考古民俗館

「地域づくりの核となり絆を育てる」を目標に宮川町を中心に集められた民具や民俗資料、発掘調査で出土した国宝級の考古資料の展示は、保存状態も良好で、展示館の場

所は池ヶ原湿原への入り口に在り、最近入場者も増えている。今後も飛騨市の重要で、代表的な文化施設として守りたいと感じた。

⑥カミオカラボ（宙ドーム）

本年3月に開館したカミオカラボの人気は高く、6月までに4万人の入場者があった。世界中から注目される宇宙科学研究都市の入口として今後も多くの入場者が見込まれる。地域物産紹介の、サテライト会場としての役割を持つ「道の駅」の、営業工夫努力が求められると感じた。

⑦桜ヶ丘体育館

トレーニングルーム

平成30年度、リニューアルにより一般利用者が1.6倍、高校生の利用が2.4倍に増え、今年度は、更に利便性の高い施設にする計画である。今後も健康増進のため大いに活用してほしいと感じた。

⑧電気自動車

神岡振興事務所に配備し、公用車として使用する傍ら、災害時の電力供給に期待できる電気自動車を視察した。専用機器を介して100ボルトコンセントから災害時には、かな

りの電気供給が可能とのこと。電気自動車は現在市内に14台あり、災害時に利用するなら連携協定だけでなく、補助金支給して活用促進を図ることも必要と感じた。

⑨市民病院医師住宅

市民病院に勤務する医師が利用している住宅を神岡町東町で視察した。耐用年数22年の住宅は経過年数22～28年で、極端に古くはないが外観的に老朽の跡が見受けられ、使い勝手の不都合も予測された。今年度研修医住宅については、民間プロポーザルによって整備予定が計画されている。

⑩めひの野園流葉牧場

本年3月に多機能型（就労

継続支援B型・就労移行支援事業所として竣工された。同時に農山漁村振興交付金を受け、食鳥処理施設も整備され、利用定員26名の中で16名（神岡13・上宝2・古川1）が利用している。今後も生産数・利用者数を伸ばしてほしい。

⑪飛騨流葉ドローンパーク

流葉スキー場の一角に、当日オープンしたパークを視察し、ドローン操縦の実演をはじめ、様々なデモンストレーションを見学した。災害時の人命救助や測量作業など今後の活用開発の可能性を感じた。（総務常任委員長 中村）

総務常任委員会活動報告

4月 5日(金) 第4回委員会	1. 定例会年間計画について 2. 委員会年間計画について
4月23日(火) 第5回委員会	1. 所管事務調査 2. 管内視察調査について 3. 管外視察について
5月 8日(水) 総務打合会 (正副委員長・事務局長)	1. 管内視察調査箇所について 2. 管外視察について
5月17日(金) 第6回委員会	1. 管内視察調査 2. 管内視察調査報告書まとめ
6月 5日(水) 第7回委員会	1. 管外視察について
6月27日(木) 第8回委員会	1. 令和元年第2回定例会における付託案件について（論点整理）
6月28日(金) 第9回委員会	1. 付託案件 「議案第73号・議案第74号・議案第75号・議案第76号」の審査 2. 「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」審査

産業常任委員会
管内視察報告

産業常任委員会では5月20日に実施した管内視察について委員の感想を交え報告します。

① 中山間農業研究所

中山間地農業を維持・発展する「元氣な農業づくり」を目標とし、人工培土を使用したトマト栽培の研究が行われており、土耕栽培では通常8〜9t程度のところをだいたい3倍弱の24t程取れる。飛騨地域で9名の農家の方が人工培土を行っているが飛騨市はゼロであり、飛騨市への普及を図っていただきたい。

② 西野製材所

飛騨市は70%が広葉樹。広葉樹の利用として、池ヶ原湿原、山之村、畦畑の市有林を切り出し製材している製材所である。

広葉樹の製材所は、高山を含めても2軒しかない。中川町との交流を拡大して行く方策として、材木、板材を販売することが考えられるが、輸送等のコストが掛かることもあり課題が多いと感じた。

③ ひだキャトルステーション

飛騨牛素牛の生産、担い手の育成、堆肥処理問題解決にむけた耕畜連携のモデル構築を事業の根幹としてスタートした。

和牛繁殖農家を増やして「飛騨牛」を大幅に増頭し、飛騨産飛騨牛のブランド力のUPにつなげていただきたい。牛、飼育飼料の搬入道路が狭い、道路幅の拡幅が早期の課題である。

④ kino workshop

太江に来て約13年、現在は夫婦で、広葉樹を使った小物と家具を作っている工房である。家具は主にテーブルや椅子。

もう少し商品アイテムを増やして、手頃な価格帯の製品製作を期待する。



kino workshop の作業場

⑤ めひの野園 飛騨流葉牧場

県、飛騨市の補助を受け本年1月より神岡町では初めての障害福祉サービス事業所として開所、障害のある方に働く機会を提供し、その対価として工賃、給料を支払うことを主とした就労系の事業所（多機能型事業所）である。

現在、飛騨地鶏の生産数は、1万2千羽。敷地内の池に野鳥が飛来する為、鳥インフルエンザの感染を防止するため、池の埋め立てや「飛騨地鶏」のブランドを高めるため、地元での消費拡大が重要であり、今後、飛騨地内への販路拡大が課題である。

⑥ 薬師橋 不法投棄場所

薬師橋より川に市指定ゴミ袋（生ごみ）や黒ビニール袋（紙おむつ）などが不法投棄されていた現場。不法投棄を防止するために、不法投棄の監視カメラによる対策と市民のモラルの向上に期待したい。

⑦ 船津座

各種イベント、地域住民の憩いの場として、地域内外の交流の中心的役割を担うものとして、平成17年4月に完成し、飛騨市最初の指定管理制

度を導入した施設です。当初から限られた予算の中で、民間活力を生かして運営して、指定管理料を1千万円程度の削減をしている。コストは人件費で3割を占める。人員は9名である。

年間2千万円程の指定管理料であり、指定管理料を減らす経営努力が必要である。

⑧ 数河地内国道41号線災害

復旧工事現場

発災は平成30年7月7日で、2ヶ所で土砂流出しており、下流側で4千㎡、上流側で

6千㎡の土砂が流れ出た。国土交通省所管の国道への土砂流出防止柵工事は6月末で完成する。土砂流出防止柵は重力式擁壁である。

この地域は山間部で、急峻な地形が多く、災害は想定外の地区・箇所からの発生があるため、今後、防災についてのより一層の対策が求められる。また、発生した場合に直ぐに対応が出来るように国、県、建設業協会とのより一層の連携強化を図っていただきたい。（産業常任委員長 徳島）

産業常任委員会活動報告

4月 5日(金) 第4回委員会	1. 定例会年間計画について 2. 委員会年間計画について
4月22日(月) 第5回委員会	1. 所管事務調査 商工観光部、農林部・農業委員会 環境水道部、基盤整備部 2. 管内視察調査について 3. 管外視察について
5月10日(金) 第6回委員会	1. 管内視察調査について 2. 管外視察について
5月20日(月) 第7回委員会	1. 管内視察調査 2. 管内視察調査報告書まとめ 3. 管外視察について
6月27日(木) 第8回委員会	1. 令和元年第2回定例会における付託案件について（論点整理）
6月28日(金) 第9回委員会	1. 付託案件「議案第77号」の審査

市民との意見交換会

— 意見の一部を紹介します —

6月6日(木) 宮川会場

- 宮川小学校が10人になって教員も減っていくが、教員、運営委員会、PTAなどが一生懸命頑張っている。子供の事にはお金を掛けていってほしい。温かく見守ってほしい。
- エゴマ栽培の補助金の継続を願う。

6月7日(金) 河合会場

- 各地区の一時避難所に、洋式トイレやテレビが設置されておらず、避難された高齢の方などが不便を感じた。解消できないか。
- 災害時にグループホーム利用の認知症の方の避難が難しい。対応策はあるのか。
- タクシーが河合、宮川で1台ではなく、2台に増車してほしい。予約が取れず通院などで困る。
- 危険空き家は行政代執行ができるようにしてもらいたい。



意見交換会の様子 (河合会場)

6月12日(水) 古川会場

- 河合スキー場は年々人が減っている。整備をしつかりして応援してほしい。
- 河合橋の改修・架け替えに昭和20年代以降陳情が続けているが進展していない。
- 市役所へ何かを聞きに行く時、庁舎内をたらいまわしにされる。
- 池ヶ原湿原への誘導看板の位置が問題である、数河や菅沼方面から通行止めである看板が国道に設置されておらず、そこまで行って引き返してきた。
- 税金から指定管理料が支払

『高校生との意見交換会』開催予定

飛騨市内にある高校の文化祭開催時に、おでかけ意見交換会を実施します。

飛騨市議会議員数名と高校生と語らいの場を設けます。

◆ 8月31日(土)

《吉城高校文化祭》

◆ 10月10日(木)

《飛騨神岡高校文化祭》

※ 一般の見学者の方との意見交換も行います。
みなさまの参加をお待ちしています。



意見交換会の様子 (古川会場)

6月13日(木) 神岡会場

- 農協から真宗寺にかけての大横丁通りは活気がなくなっている。
- われている。施設の採算はどうか。
- 雇用条件が一番悪いのが老健たかはらで、この問題に関して特別委員会を設置して徹底的に論議すべき。住民としっかり話をする必要がある。
- 公務員と同じ給料を提示して介護職を集めるべき。
- 地元の介護施設に入所したいが入所できず、市外の施設へ行かざるを得ない状況をどうするか。
- 流葉や山田湖周辺のウォーキングコースがイノシシに荒らされ、田畑に獣除けの柵が設けられて景観が悪くなった。

編集後記

6月に開催した「議会報告会(議員と市民との語る会)」では貴重なご意見をいただきました。平成25年の第1回は各町の区長との意見交換会を開催。これまで市内の旧4町で年1回開催してきました。参加される方が決まっている地域もあり、広くいろいろな意見を伺う機会を増やすため、令和元年度は8月と10月に、市内2高校の文化祭に「お出かけ議会」としてブースを設けていただき、開催することができるとなりました。これまで参加されていなかった。若い世代、特に高校生の意見や考えを聞き、どうしたら地元に残るのかを考えていきたいです。飛騨市では、平成30年度から議会改革特別委員会を設置し、市民に分かりやすい議会を目指しています。当日は一般の方も文化祭の見学ができます。ぜひ「お出かけ議会」にも寄ってください。お待ちしております。

(前川 文博)

